

2007年12月13日



## -プラスチック原料を年間に約570t削減- 弁当の包装形態を“ラップ包装”から『テープ止め』に変更 ～北関東・新潟県の店舗より本格展開～

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長 最高執行責任者<COO>山口 俊郎）は、12月17日（月）よりセブン-イレブンで販売する弁当の包装形態を“ラップ包装”から『テープ止め』に変更してまいります。初めに、茨城県・栃木県・群馬県・新潟県のセブン-イレブン店舗（07年11月末現在1,511店舗）から順次変更し、2008年2月迄にはセブン-イレブン全店（11月末現在11,874店舗）での展開を予定しております。

今回の取り組みは、環境負荷の低減および弁当の見た目や選びやすさの向上を目的に、本年3月よりテストを重ねてまいりました。配送中の荷崩れや売場での安定陳列等に対応するため、容器の変更やテープの改善を行った上で、このたびの弁当簡易包装の実現にいたりました。

これにより、プラスチック原料を年間に約570t削減することが可能になり、レジ袋に換算すると現使用量の約5%削減と同等の効果が見込まれることになります。

セブン-イレブン・ジャパンでは、環境問題対策等の社会的責任を遂行するとともに、安全・安心を第一とした商品開発を推進してまいります。



＜変更前＞

ラップ（フルシュリンクラップ）包装



＜変更後＞

テープ止めのみ

## ＜新包装形態弁当について＞

|         |           |                 |        |
|---------|-----------|-----------------|--------|
| ◇展開開始日程 | 12月17日（月） | 茨城県内のセブン-イレブン全店 | 491 店舗 |
|         | 12月18日（火） | 栃木県内のセブン-イレブン全店 | 341 店舗 |
|         | 12月19日（水） | 群馬県内のセブン-イレブン全店 | 342 店舗 |
|         | 12月21日（金） | 新潟県内のセブン-イレブン全店 | 337 店舗 |

（店舗数は11月末現在）

※現在、山梨県・千葉県の房総エリアの合計約370店舗でテスト展開を実施中。  
2008年2月迄にセブン-イレブン全店での展開を予定。

◇内 容 弁当の包装形態を、現状の“ラップ（フルシュリンクラップ）包装”から  
『テープ止め』へ変更

◇目 的 ○環境負荷を低減  
○弁当の見易さ、選びやすさとともに、手作り感、できたて感を訴求  
○“コンビニ弁当はゴミが多い”というお客様のイメージを改善

### ◇対応事項 ①フタや容器（受皿部分）の構造を改良

⇒フタと容器のかみ合わせ部分の構造を改良し、密閉性を向上。  
また、フタと容器を固定するテープの見直しも合わせて実施。

### ②弁当容器のフタと底面の形状を変更

⇒容器のフタと底面に凸凹をつけ、上下がかみ合うようにすることで、  
配送効率と売場での陳列を改善。

### ③配送時の工夫

⇒弁当やおにぎり等、弁当配達用ケースへの詰め方を工夫し、  
安定感のある配達を実施

※弁当の包装形態変更を機に、販促物の変更も  
合わせて実施。色合いを温かみのあるオレンジに  
することで、陳列ケースのイメージを統一



### ◇環境負荷低減

○今回の取り組みにより年間約570tのプラスチック原料を削減  
レジ袋5%削減と同一効果に

以上